

## Buddycomの導入理由

“業務が効率化され、清掃が間に合わない、  
全室稼働できないといった事態が  
なくなりました

ホテル

客室清掃、フロント



Buddycomの導入後、客室・フロア連絡を密に取れるようになって、清掃業務の効率が格段に良くなりました。

以前は、15時のチェックインに清掃が間に合わないことでお客様からクレームがあったり、清掃がボトルネックで客室を全室稼働できなかったりしましたが、人員採用の強化とBuddycomの導入によって、そのような事態は0件になりました。

導入前は電話を利用していたため、1人にしか連絡できず、指示が行き届かないことで、スタッフがどこに清掃へ行けばよいか分からない、電球など消耗品が見つからない、清掃が遅れたなどといったやり取り1つ1つに非常に時間がかかっていました。

Buddycomを導入してからは、一度に全員とコミュニケーションできるため、連絡が密になり、マネージャーが指示しなくてもフロア責任者同士で応援の要請・提供を行ったりするなど、清掃業務の効率が大幅に改善されました。



## Buddycom導入の背景

- ・人手不足もあり、清掃が15:00までに終わらなかったり、全室稼働させることができなかった
- ・地下にある事務所や離れている建物間でのコミュニケーションができなかった
- ・電話では1人にしか情報伝達できず、指示が行き届いていなかった

## Buddycomを導入した理由

- ・IP通信で、無制限で使えるため
- ・IP無線機は重量が重い一方、Buddycomはスマホ1台で使えるため



# 客室清掃、フロント のスタッフコミュニケーション で活用

加森観光株式会社が運営する「ルスツリゾート」では、客室清掃にてBuddycomを導入しました。BuddycomはTalk Enterpriseプランを契約し、1グループで運用しており、客室清掃のインスペクターとフロントの一部スタッフが参加しております。

客室清掃では、2名1組を最小単位とし、1チームに5~6組、繁忙期には10組が所属し、チームごとにインスペクターが1名います。チームごとにフロアを担当し、1チーム10名で50部屋を目標に清掃しており、繁忙期には全521部屋の清掃を行っています。メインの建物は1つですが、ノースウイングとサウスウイングの2つのエリアはフロントを分けているほど広大で、その他にログハウスやコテージもあります。

Buddycomは、お昼前の進捗報告や、応援の要請・提供、リネン等の在庫状況の共有などに使用しています。また物品の破損や忘れ物などがあった際には、写真を撮影し、Buddycomで共有した上で報告したりもしています。

導入当初、費用面から有線タイプの周辺機器を使用していましたが、客室清掃では特に移動距離と活動量が多いため、ケーブルがない方が好ましいと現場からの意見があり、現在はBluetoothマイクMKI-P3を使用しています。MKI-P3は、PTTで使用していますが、バッテリー持ちもよく、ワイヤレスのため煩わしさもなく気に入っています。



## 導入検討中の方へメッセージ

Buddycomを導入して本当に現場が良くなりました。現在は、客室清掃で利用していますが、フロントとベルでも使いたいと考えており、導入を広げていくことを検討しています。



株式会社サイエンスアーツ

Service: [www.buddycom.net](http://www.buddycom.net)

お問い合わせ: [info@science-arts.com](mailto:info@science-arts.com)

